



第156期 事業報告

2020年4月1日～2021年3月31日

(ご参考) 会計基準比較表 (主な変更点は赤字)



◆日本基準

連結損益計算書	
売上高	
営業利益	
経常利益	
親会社株主に帰属する 当期純利益	

連結貸借対照表	
資産の部	負債の部
	純資産の部

◆国際財務報告基準 (IFRS)

連結損益計算書	
売上収益	
営業利益	
税引前利益	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	

連結財政状態計算書	
資産	資本
	負債

シオノギグループの現況に関する事項

2030年 Vision

新たなプラットフォームで
ヘルスケアの未来を創り出す

2030年 Visionを達成するための戦略

STS2030

- Shionogi Transformation Strategy 2030 -



STS2030

STS Phase1 ('20-'24)

STS Phase2 ('25-)

STS Phase1 3つの戦略

新たな価値創造

i. R&D戦略



革新的パイプラインの開発促進

ii. トップライン戦略



多様なビジネス構築による事業の成長

基盤構築

iii. 経営基盤戦略



新たな価値創造を実現するための基盤づくり

事業の経過及びその成果

① 連結業績 - 売上収益、各種利益 -

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による医薬品市場の減少により減収減益
- 研究開発や新規事業に積極投資

連結損益の概要

(億円)

	2019年度	2020年度	前期比 (%)
売上収益	3,334	2,972	▲10.9%
営業利益	1,306	1,174	▲10.1%
コア営業利益*	1,274	940	▲26.2%
税引前利益	1,585	1,430	▲9.8%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,222	1,119	▲8.5%

① 連結業績 - 資産等 -



- 安定的な財務基盤を維持
- 中長期的な企業価値向上に向けた取り組みが進捗

連結財政状態計算書項目

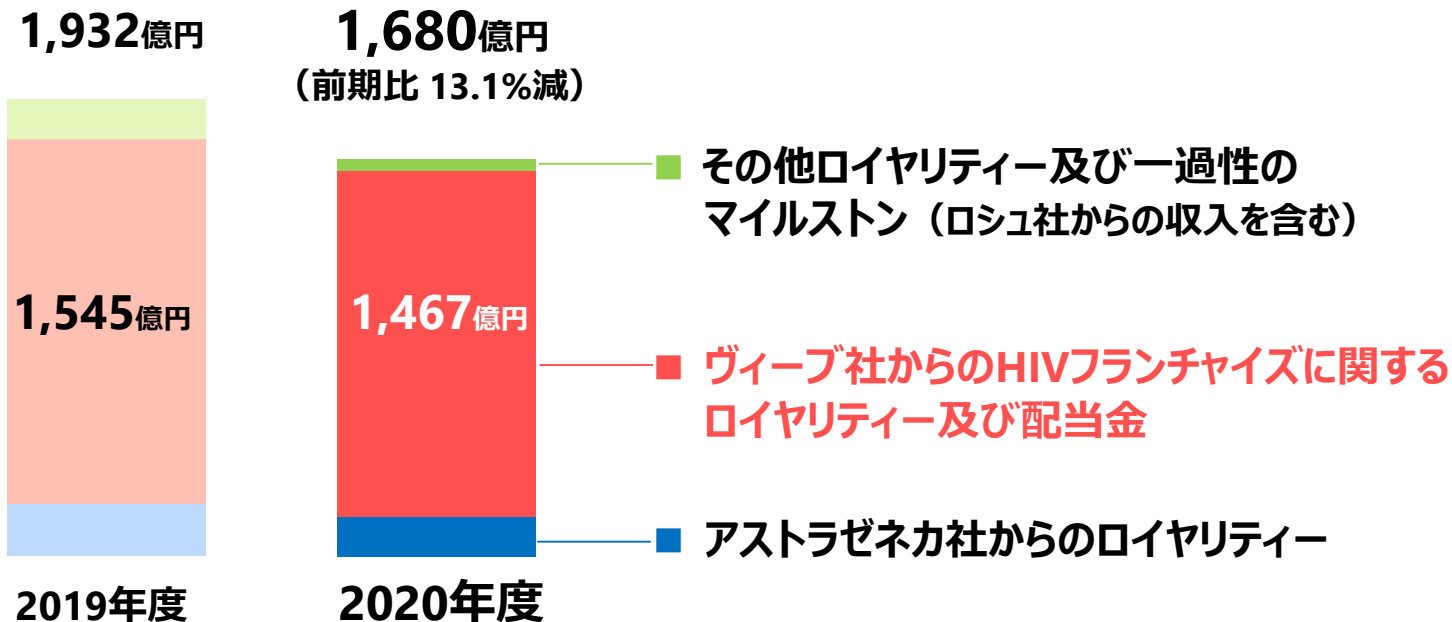
(億円)

	2019年度	2020年度	前期比 (%)
資産合計	8,737	9,990	14.3%
資本合計	7,652	8,646	13.0%
負債合計	1,085	1,344	23.9%

② ロイヤリティー及びヴィーブ社からの配当金収入

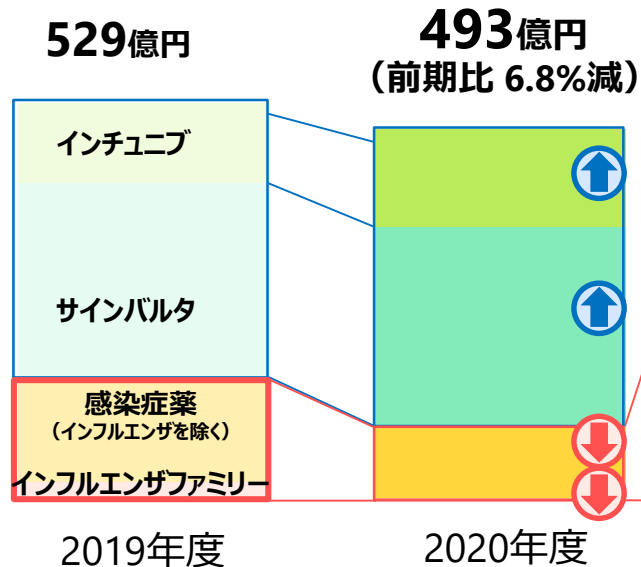


HIVフランチャイズに関する堅調なロイヤリティー及び配当金収入を受領



③ 国内事業

- インフルエンザファミリーを含む感染症薬は、新型コロナウイルスの影響により売上減（前期比 39.1%減）
- サインバルタ、インチュニブが伸長



◆ 新型コロナウイルスの感染予防対策の励行等により、インフルエンザをはじめ多くの市中感染症が激減

⇒ 感染症薬の売上減 (前期比39.1%減)

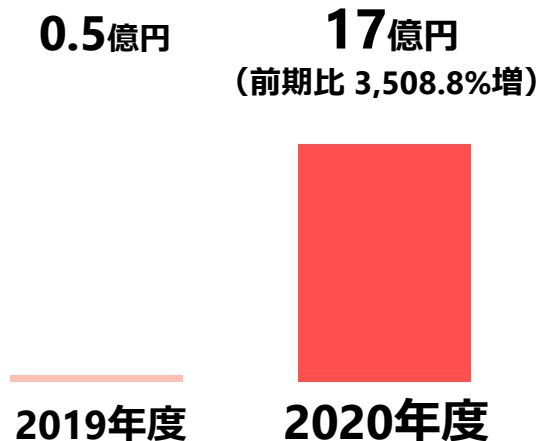
⇒ インフルエンザファミリーの売上減 (前期比 89.1%減)

③ 海外事業 - セフィデロコル (Fetroja/Fetcroja)*の価値最大化 -



- 米国におけるFetrojaの売上増
- 欧州における新たな感染症ビジネスモデルの構築

◆米国：Fetrojaの売上増



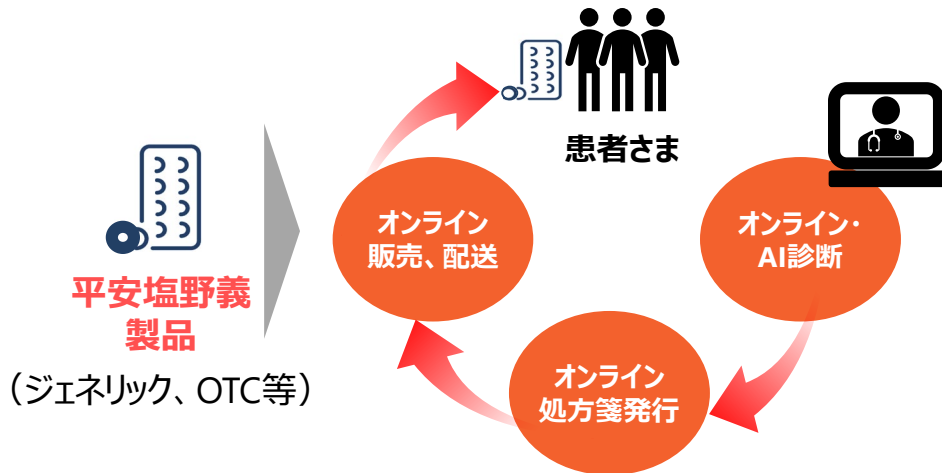
◆欧州：サブスクリプション型償還モデルへの採択



③ 海外事業 - 中国事業 -

- 平安塩野義による事業変革に向けた順調な進捗
- オンラインプラットフォームによる製品販売の開始

◆オンラインプラットフォームによる 平安塩野義製品の販売



◆AI創薬の加速

大量の統合データを高速・高精度に解析



④ 研究開発 - 注カ8プロジェクト -

注カ8プロジェクトは予定通りに進捗



⑤ 生産、サプライチェーン



- ・ シオノギファーマ : CDMO*としての成長基盤を確立
- ・ COVID-19によるパンデミックにおいても、欠品を起こすことなく医薬品の安定供給を継続

* CDMO : Contract Development Manufacturing Organization
医薬品製造のみならず開発も請け負う機関

◆シオノギファーマによるものづくりの進化

ナガセ医薬品の
完全子会社化

COVID-19ワクチンの
生産設備の
早期立ちあげ

連続生産方式の推進

アライアンスによる
技術力の進化

◆医薬品の安定供給責任

- ・ 適切な在庫管理の徹底、製造状況のモニタリングの強化による安定供給の継続
- ・ グローバルでの品質保証の遂行、製造品質の向上による品質確保

対処すべき課題

対処すべき課題と当期の振り返り



持続的成長に向けて対処すべき課題

成長ドライバーの
研究開発の進展

国内、海外事業の
強化

ビジネスイノベーション
の創出

当期の成果

注力8プロジェクトの
推進

海外事業の
成長

COVID-19 トータル
ケアへのアクション

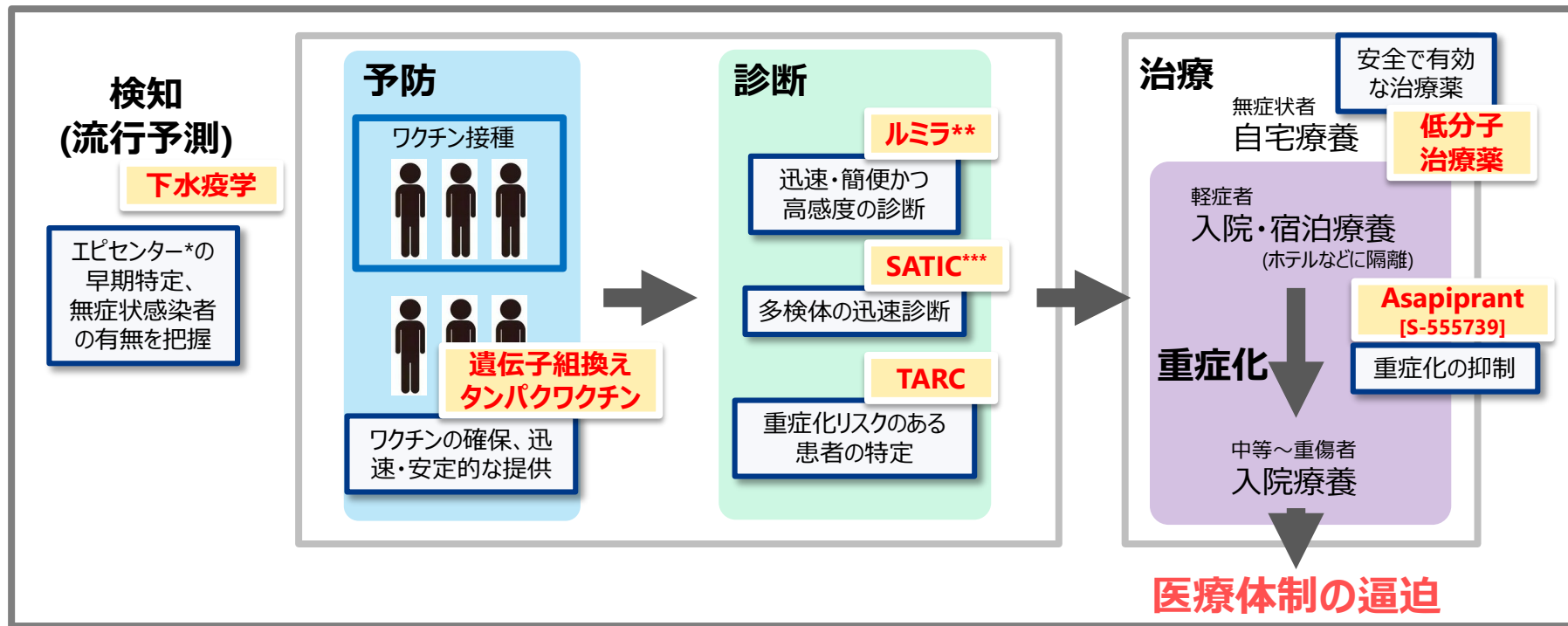
COVID-19関連の研究開発では
感染症のリーディングカンパニーとして社会の期待に十分に応える実績は出せなかった

2021年度は、引き続きCOVID-19に対するソリューション提供に注力し、
社会の安心・安全の回復に貢献する

COVID-19に関してシオノギが実現したい姿



喫緊の課題である医療体制逼迫へのソリューションを提供



遺伝子組換えタンパクワクチンの研究開発

純国産ワクチンの早期実用化に向け、

- **国内Phase I / II 試験を実施中**
- Phase III試験の年内開始に向け準備中
 - ✓ 有効性と安全性を評価する代替手法の検討
 - ✓ 現行承認制度の弾力的な運用に向け規制当局・省庁と協議
- 増産に向けて生産体制を強化



治療薬の研究開発

有効性・安全性に優れた治療薬の開発に向け、

- **低分子創薬から選出された経口の有望化合物の研究開発を加速**
- **上期中の臨床試験開始に向け準備中**
 - ✓ 適切な評価指標の検討
 - ✓ 条件付き早期承認制度等の適用に向け規制当局・省庁と協議
- **低分子のみならずペプチド、核酸、抗体などでも創薬研究を推進**



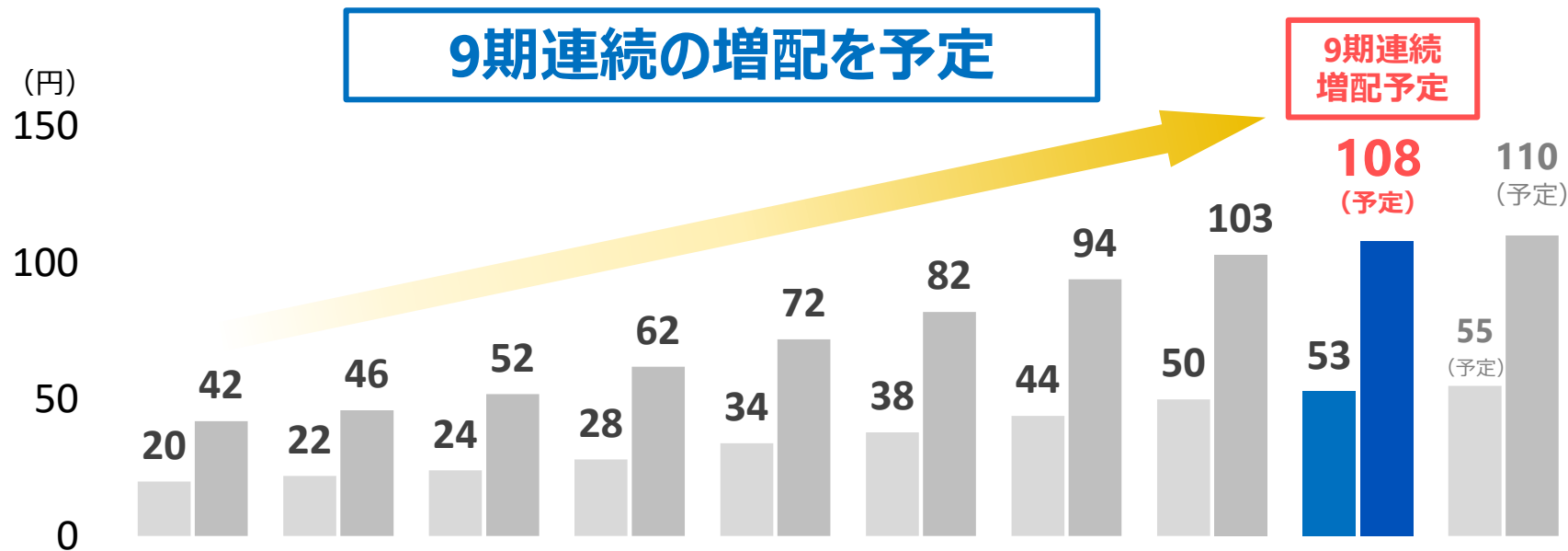
— 2021年度 シオノギの決意 —

感染症のリーディングカンパニーとして

**COVID-19の早期終息に
“最優先”で取り組みます**

配当方針

成長とともに実感していただける株主還元政策



年度		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
自己株式	取得額	-	-	300億円	-	350億円	294億円	500億円	500億円	500億円	
	消却数	-	-	-	-	2,200万株	500万株	735万株	520万株*	-	

新たなプラットフォームで ヘルスケアの未来を創り出す

将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。